九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[086_01] 法政研究表紙奥付

https://hdl.handle.net/2324/2333973

出版情報：法政研究. 86 (1), 2019-07-31. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

雑　報

九州大学法政学会

特別教育プログラム（一）　ロー・アンド・プラクティス講演会

二〇一八年七月六日（金）

「大崎事件から見える刑事司法の課題」

講師　鴨志田祐美（弁護士法人えがりて法律事務所）

二〇一八年一二月一五日（土）

「「連立」から日本政治を考える」

講師　中北浩爾（一橋大学大学院社会学研究科教授）

二〇一九年一月二五日（金）

「法を学ぶことの意義とそれに伴う責務」

講師　佐藤幸治（京都大学名誉教授）

特別教育プログラム（二）　LPセミナー

法学部一年生向法律入門セミナー

講師　横山　寛　（福岡地方裁判所裁判官）

安武雄一郎　（弁護士）

川瀬孝史　（福岡地方裁判所裁判官）

浦川雄基　（弁護士）

奥江隆太　（福岡地方検察庁検察官）

講演会ほか

二〇一八年三月一七日（土）

「Human Rights Futures: Backlash and Beyond」

講師　Jack Snyder (Columbia University)

Leslie Vinjamuri (SOAS, University of London)

共催　Kyudai Interdisciplinary Colloquium

二〇一八年一〇月五日（金）、六日（土）

「Leniency Policy in Asian Competition Law」

講師　Baskaran Balasingham (Macquarie University (Australia)), Yong Lim(Seoul National University (Korea)), Karan Singh Chandhiok (Chandhiok & Associates (India)), Ploykaew Poranaond (Chiang Mai University (Thailand)), Andy C.M. Chen (Chung Yuan Christian University (Taiwan)), Yoshiteru Uemura (Hannan University (Japan)), Scott Clements (Allen & Gledhill LLP (Singapore)), Steven Van Uytsel (Kyushu University (Japan)), Sandra Marco Colino (Chinese

University of Hong Kong (Hong Kong)), Mark Williams (Melbourne University (Australia)), Cassey Lee (ISEAS Yusof Ishak Institute (Singapore))

二〇一八年一〇月九日（火）

「The New German Trade Secret Act: All new in Germany?」

講師　Christoph Ann (Professor, School of Management, Technical University of Munich)

二〇一八年一二月三日（月）

「Regulating FinTech in Asia: Global Concerns, Local Perspectives」

講師　Erik Vermeulen (Tilburg University & Vice President – Philips Lighting, The Netherlands); David C. Donald (Chinese University of Hong Kong, Hong Kong); Christopher Chen (Singapore Management University, Singapore); Liao Fan (Institute of International Law, CASS, China); Hiromitsu Ishii, esq. (Sugimura & Partners, Japan); Shinto Teramoto (Kyushu University, Japan) and Takuhiro Fukazu, esq. (Nishimura & Asahi, Japan), Susumu Tanizawa, esq. (Nishimura & Asahi, Japan); Shiba Akihiro, esq. (Nishimura & Asahi, Japan); Sunseop Jung (Seoul National University, Korea); Nguyen Yen Hai (Hanoi Law University, Vietnam); Pawee Jenweeranon (Thammasat University, Thailand)

二〇一八年一二月八日（土）

「第一回「Society 50」における技術と法――「プラットフォーマー」に関する諸課題を中心に」

講師　伊澤一雅（一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）常任理事）、渡部友一郎（弁護士・Airbnbシニアリーガルカウンセル）、田上嘉一（弁護士・弁護士ドットコム株式会社ゼネラル・マネージャー）

二〇一八年一二月一五日（土）

「第二回「Society 50」における技術と法――「ものづくり」「まちづくり」に関する諸課題を中心に」

講師　田中浩也（慶應義塾大学環境情報学部教授・ファブラボジャパン発起人）、園原吉光（株式会社安川電機技術部技術企画部長）、江村克己（ＮＥＣ取締役執行役員常務兼ＣＴＯ（チーフテクノロジーオフィサー）

共催　九州大学法学部公開講座「現代社会におけるクリ

エイティブ産業の役割（JASRAC寄附科目）」、九州大学「人社系協働研究教育コモンズ」関連企画

ローマ法研究会

二〇一八年一月一一日（木）
「D. 16, 3, 31, 1について」
報告者　石川真人（久留米大学）

二〇一八年一月一八日（木）
「『戦争法』（カイロ、1872年）の紹介と若干の検討」
報告者　沖祐太郎（九州大学）

二〇一八年四月一二日（木）
D. 2, 15, 1 Ulp. 40 ad ed.
報告者　五十君麻里子（九州大学）

二〇一八年四月二六日（木）
D. 2, 15, 2 Ulp. 74 ad ed.
報告者　菅尾暁（九州国際大学）

二〇一八年五月一七日（木）
D. 2, 15, 3 pr. Scaev. 1 dig.
報告者　梁田史郎（九州大学）

二〇一八年五月三一日（木）
D. 2, 15, 3, 1 Scaev. 1 dig.
報告者　五十君麻里子（九州大学）

二〇一八年六月七日（木）
D. 2, 15, 3, 2 Scaev. 1 dig.
報告者　菅尾暁（九州国際大学）

二〇一八年六月二一日（木）
D. 2, 15, 4 Ulp. 46 ad Sab.
報告者　梁田史郎（九州大学）

二〇一八年七月五日（木）
D. 2, 15, 5 Pap. 1 def.
報告者　西村重雄（九州大学名誉教授）

二〇一八年一〇月一一日（木）
D. 2, 15, 6 Gai. 17 ad ed. provinc.
報告者　五十君麻里子（九州大学）

二〇一八年一〇月二五日（木）
D. 2, 15, 7, pr.-1 Ulp. 7 disp.
報告者　菅尾暁（九州国際大学）

二〇一八年一一月一日（木）
D. 2, 15, 7, 2 Ulp. 7 disp.
報告者　梁田史郎（九州大学）

二〇一八年一一月八日（木）

D. 2, 15, 8, pr.-1 Ulp. 5 de omn. trib.
報告者　五十君麻里子（九州大学）
二〇一八年一一月二九日（木）
D. 2, 15, 8, 1-2 Ulp. 5 de omn. trib.
報告者　菅尾暁（九州国際大学）
二〇一八年一二月二〇日（木）
D. 2, 15, 8, 3-4 Ulp. 5 de omn. trib.
報告者　梁田史郎（九州大学）

サヴィニー研究会

二〇一八年一月二七日（土）
サヴィニー『現代ローマ法体系』第五巻第二四一節前半
報告者　赤松秀岳（九州大学）
二〇一八年二月二四日（土）
サヴィニー『現代ローマ法体系』第五巻第二四一節後半
報告者　上村一則（久留米大学）
二〇一八年四月二八日（土）
サヴィニー『現代ローマ法体系』第五巻第二四二節
報告者　野田龍一（福岡大学）・三宮希（福岡大学）
二〇一八年五月一九日（土）
サヴィニー『現代ローマ法体系』第五巻第二四三節
報告者　大久保憲章（広島修道大学）
二〇一八年六月二三日（土）
サヴィニー『現代ローマ法体系』第五巻第二四四節
報告者　菅尾暁（九州国際大学）
二〇一八年九月二二日（土）
サヴィニー『現代ローマ法体系』第五巻第二四五節
報告者　梁田史郎（九州大学）
二〇一八年一〇月二七日（土）
サヴィニー『現代ローマ法体系』第五巻第二四六節
報告者　田中教雄（九州大学）
二〇一八年一一月二四日（土）
サヴィニー『現代ローマ法体系』第五巻第二四七節（前半）
報告者　五十君麻里子（九州大学）
二〇一八年一二月二二日（土）
サヴィニー『現代ローマ法体系』第五巻第二四七節（後半）
報告者　上村一則（久留米大学）

九州公法判例研究会

二〇一八年度春季（二〇一八年五月二六日）
「ヘイト・スピーチ解消法と政府言論」
　桧垣伸次（福岡大学法学部准教授）
「著作権侵害サイトのブロッキングをめぐる法的問題――公法上の問題を中心に」
　成原　慧（九州大学法学研究院准教授）
二〇一八年度夏季（二〇一八年七月二一日）
「スポーツイベントの安全確保と公法的規制：フランスのフーリガン対策法制の憲法問題」
　井上武史（九州大学准教授）
「自治体行政における「『先例』」
　田中孝男（九州大学教授）
二〇一八年度秋季（二〇一八年一一月一〇日）
「ストリートアートの法規制」
　小島立（九州大学准教授）
　コメンテーター　大日方信春（熊本大学教授）
「最高裁判例の形成過程――ミュージック・サプライ事件判決を素材とした実証的研究」
　赤坂幸一（九州大学准教授）
　コメンテーター　小島立（九州大学准教授）
二〇一八年度冬季（二〇一九年二月二三日）
「目的審査再考――平等原則違反が争われたアメリカ連邦最高裁判例を素材にして」
　井上一洋（宮崎産業大学准教授）
「判例報告（九条俳句不掲載訴訟控訴審判決（東京高判平成三〇年五月一八日）」
　棟形康平（九州大学法学研究院博士後期課程）
「私訴権の可能性についての比較法的考察」
　堀澤明生（北九州市立大学法学部専任講師）

社会法研究会

第四六一回　二〇一八年一月六日（土）　九州大学
「フランス労働法における労働協約による契約変更と契約の自由」
　小山敬晴（大分大学）
「高齢者・障がい者虐待と保護のあり方」
　三輪まどか（南山大学）
「アメリカの大学教員解雇に関するＡＡＵＰの手続基準と裁判例の検討」

鶴﨑新一郎（九州大学大学院・法学研究院協力研究員）

第四六二回　二〇一八年二月三日（土）　九州大学

「EU経済統合における労働法の課題――国際的経済活動の自由との相克とその調整」

井川志郎（山口大学）

「介護保障訴訟の展開と法的課題――障害法の視点から」

河野正輝（九州大学名誉教授）

「マクロン・オルドナンスによる労働契約法の改革――不当解雇の金銭補償および工事・作業契約を中心に――」

野田進（九州大学名誉教授）

第四六三回　二〇一八年三月三日（土）　九州大学

【午前のテーマ】

「社会保障法と労働法の関係性」（平成三〇年・社会保障法学会プレ報告）

司会　加藤智章（北海道大学）

「社会保障法と労働法の関係性―独自性の発揮と連携の模索」

水島郁子（大阪大学）

「社会保障法と労働法の相互作用」

丸谷浩介（九州大学）

「コメント」

良永彌太郎（元熊本大学）

【午後のテーマ】

「社会保障法における体系論と権利論・再考」（平成三〇年・社会保障法学会プレ報告）

司会　増田幸弘（日本女子大学）

「戦後社会保障法学における体系論～背景・評価・将来」

山田晋（広島修道大学）

「社会保障の権利論・再考」

秋元美世（東洋大学）

「コメント」

阿部和光（久留米大学特任教授）

第四六四回　二〇一八年四月七日（土）　久留米大学福岡サテライト

「契約締結強制としての労契法一八条一項による労働契約の成立と内容の規律」

新屋敷恵美子（九州大学）

「労働法と社会保障法―労働契約の成立と終了に関する若干の判例を素材にして―」

柳澤旭（山口大学名誉教授）

第四六五回　二〇一八年五月十二日（土）　九州大学

「求人票と実際の労働条件との相違と未払賃金等請求―福祉事業者A苑事件（京都地判平二九・三・三〇労判一一六四号四四頁）」
小山敬晴（大分大学）
「働き方の多様化と女性雇用――ハラスメントの観点から」
新屋敷恵美子（九州大学）
「社会保障法と国際法規」
山下慎一（福岡大学）
第四六六回　二〇一八年六月二日（土）　九州大学
「フランスにおける代替的交渉手段と労働協約の締結」
渋田美羽（九州大学大学院）
「労働法『学』の立ち位置を考える」
菊池高志（九州大学名誉教授）
第四六七回　二〇一八年七月七日（土）　九州大学
豪雨のため中止
第四六八回　二〇一八年八月四日（土）　九州大学
「公的医療保険における公平と競争―ドイツにおける展開」
松本勝明（熊本学園大学）
「労働法規範における公序の失墜―デロゲーションから補足性原理へ―」
野田進（九州大学名誉教授）
「『障害の従属性』―アメリカ障害法における争点とわが国の論点」
河野正輝（九州大学名誉教授）
第四六九回　二〇一八年九月一日（土）　西南学院大学
「在日米軍基地従業員の国内労働法適用上の問題」
春田吉備彦（沖縄大学）
「イギリス労働法の適用場面における契約解釈の位置づけと機能に関する一考察（仮）」
新屋敷恵美子（九州大学）
第四七〇回　二〇一八年一〇月六日（土）　九州大学
台風のため中止
第四七一回　二〇一八年十一月三日（土）　九州大学
「触法者等に対する社会復帰支援法制試論」
木村茂喜（西南女学院大学）
「判例研究　遺族補償年金受給資格年齢の男女差の合憲性―地公災基金大阪府支部長（市立中学校教諭）事件（最三小判平二九・三・二一労判一一六二号五頁）」
平部康子（佐賀大学）
第四七二回　二〇一八年十二月一日（土）　熊本学園大学

「障害者権利条約における障害者像と平等概念の発展」
河野正輝（九州大学名誉教授）
「不当労働行為救済命令に対する審査制度の課題」
山下昇（九州大学）
「考えたこと、あるいは、考えてきたこと」
清正寛（熊本大学名誉教授）

九州大学産業法研究会

第六八一回例会　平成三〇年四月二一日（土）
（研究報告）
「敵対的企業買収と対抗措置をめぐる法的課題」
報告者　徳本　穣（九州大学）
（研究報告）
「第三者の不当な勧誘による不動産投資と融資契約―デート商法による投資用マンション・融資契約あっせん事例から」
報告者　若色　敦子（熊本大学）
第六八二回例会　平成三〇年六月一六日（土）
（研究報告）
「自動運転と法」
報告者　佐野　誠（福岡大学）
（研究報告）
「組織再編における債権者保護―ドイツ法からの示唆―」
報告者　牧　真理子（大分大学）
第六八三回例会　平成三〇年七月二一日（土）
（研究報告）
「有価証券報告書等虚偽記載に関する発行会社の民事責任―損害論からの考察―」
報告者　前越　俊之（福岡大学）
（研究報告）
「有価証券報告書等の虚偽記載と取締役の『相当な注意』の意義」
報告者　藤林　大地（西南学院大学）
第六八四回例会　平成三〇年九月一五日（土）
（判例研究）
最判平成二九年一月二四日民集七一巻一号一頁
「クロレラチラシ配布差止等請求事件」
報告者　泉　日出男（愛媛大学）
（研究報告）
「会社従属法の設立準拠法主義とその展開―適用範囲をめぐる議論を中心に―」

報告者　伊達　竜太郎（沖縄国際大学）

第六八五回例会　平成三〇年一〇月二〇日（土）

（判例研究）

東京地判平成三〇年三月二九日金判一五四七号四二頁

「取締役の解任について『正当な理由』があるとして役員の損害賠償請求が認められなかった事例」

報告者　横尾　亘（西南学院大学）

（判例研究）

大阪地判平成二九年八月九日金判一五三三号五〇頁

「会社分割による中小企業等協同組合法上の組合の持分の承継であっても、同法一七条一項所定の組合の承諾を要し、これがない以上、同持分の承継は無効であるとされた事例」

報告者　山崎　淳司（西南学院大学・院）

第六八六回例会　平成三〇年一一月一七日（土）

（判例研究）

東京高判平成二九年一一月一五日金判一五三五号六三頁

「取締役会の招集通知の瑕疵と取締役会決議の有効性」

報告者　嘉村　雄司（島根大学）

（判例研究）

東京地判平成二六年四月一五日判例集未登載（LEX/DB文献番号二五五一九〇六〇）

「変額個人年金保険の契約を締結した原告による、保険者および金融商品販売業者等（銀行）に対する錯誤無効および説明義務違反を理由とする損害賠償請求が、否定された事例」

報告者　前越　俊之（福岡大学）

第六八七回例会　平成三〇年一二月一五日（土）

（研究報告）

「信用生命保険と与信者による利得」

報告者　久保田　光昭（琉球大学）

（研究報告）

「保険契約者と一定の関係にある第三者の行為と保険者免責」

報告者　板垣　太郎（長崎県立大学）

第六八八回例会　平成三一年一月二六日（土）

（研究報告）

「媒介者の法理は拡張できるか?―他者の勧誘を利用した融資者の責任」

報告者　若色　敦子（熊本大学）

（研究報告）

「海外子会社等による人権侵害と法的措置の可能性―ド

イツ法からみた親会社経営者の責任リスクの一側面」
報告者　久保　寛展（福岡大学）

民事法研究会

活動なし

民事手続研究会

平成三〇年一月二〇日（土）
人事訴訟・会社訴訟における再審原告適格――被告適格との関係とその理論的基礎
松原　弘信（熊本大学）

平成三〇年一二月一日（土）
弁護士会照会に対する回答義務と確認の利益について
濵﨑　録（西南学院大学）
和解目的で提出された情報の訴訟における利用制限
川嶋　隆憲（熊本大学）

福岡民事訴訟判例研究会

【判例研究】

平成三〇年一月一九日（金）
法定管轄裁判所に訴えが提起され、専属的合意管轄裁判所への移送申立てがされた事案において、訴訟の著しい遅滞を避け、又は当事者間の衡平を図るために必要があると認められる場合には、専属的合意管轄裁判所に移送せずに、法定管轄裁判所において審理することが許されるとされた事例（名古屋高決平成二八年八月二日判タ一四三一号一〇五頁）
川上　タイ（福岡地裁）

平成三〇年二月一六日（金）
共同相続された普通預金債権、通常貯金債権及び定期貯金債権は遺産分割の対象となるか（最大決平成二八年一二月一九日民集七〇巻八巻二一二一頁）
八木　香織（福岡地裁）

平成三〇年五月一一日（金）
特許権者が、事実審の口頭弁論終結時までに訂正の再抗弁を主張しなかったにもかかわらず、その後に特許法一〇四条の四第三号所定の特許請求の範囲の訂正を

すべき旨の審決等が確定したことを理由に事実審の判断を争うことの許否（最二小判平成二九年七月一〇日民集七一巻六号八六一頁）

宮永　文雄（広島大学）

平成三〇年七月一三日（金）

検察官を被告とする人事訴訟に参加した第三者で訴訟の結果により相続権を害されるものによる上告兼上告受理の申立てが、検察官のための上訴期間経過後であっても適法とされた事例（最二小決平成二八年二月二六日判タ一四二二号六六頁）

松原　弘信（熊本大学）

平成三〇年九月一四日（金）

地方公共団体は、その機関が保管する文書について、文書提出命令の名宛人となる文書の所持者に当たるかについて判断された事例（最一小判平成二九年一〇月四日民集七一巻八号一二二一頁）

大門　全（福岡地裁）

平成三〇年一〇月一二日（金）

訴状副本及び第一回口頭弁論期日の呼出状等を書留郵便に付する送達が、受送達者の住所に宛ててなされたものでなく無効とされた事例（仙台高秋田支判平成二九年二月一日判時二三三六号八〇頁）

上田　竹志（九州大学）

九州国際私法研究会

活動なし

政治研究会

二〇一八年四月二一日

『政治研究』第六五号合評会・総会

二〇一八年五月一九日

「十月革命におけるソヴィエト国家体制創建の問題」

報告者　大藪龍介（元福岡教育大学教授）

二〇一八年六月一六日

「多数派優遇の擁護」

報告者　岡崎晴輝（九州大学大学院法学研究院教授・放送大学客員教授）

「政治理論におけるリアリズム」

報告者　山岡龍一（放送大学教養学部教授）

二〇一八年七月二一日

「〇〇する行政（協働と地域社会についての雑感）」
報告者　北見宏介（名城大学法学部准教授）
「坂井宏介氏のＮＰＯ・協働論とその展開可能性～展開されるはず（べき）であった坂井行政学を展望する～」
報告者　嶋田暁文（九州大学大学院法学研究院教授）
「隣接諸分野の壁を越えて―共同研究者としての坂井宏介―」
報告者　及川敬貴（横浜国立大学大学院環境情報研究院教授）
二〇一八年一〇月二〇日
「規範的政治理論による領土権の正当化―『領土の特定性』と『土地と人々の関係性』の観点への着目―」
報告者　小野藍（九州大学大学院地球社会統合科学府修士課程）
「ロックのエドワーズ批判における政治的含意について」
報告者　武井敬亮（福岡大学経済学部准教授）
二〇一八年一一月一七日
「ヒューム政治思想の人文主義的側面について」
報告者　鎌田厚志（九州大学大学院法学研究院協力研究員）
「安倍外交の隘路を抜けて：対ロシア外交を中心に」
報告者　岩下明裕（九州大学大学院法学研究院教授・北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）
二〇一八年一二月一五日　法政学会との共同開催
「『退出の権利』に対する制約の正当化に関する一考察―『移住のグローバリズム』の構築に向けて」
報告者　白川俊介（関西学院大学総合政策学部専任講師）
「『連立』から日本政治を考える―なぜ自公政権は強固なのか―」
報告者　中北浩爾（一橋大学大学院社会学研究科教授）